【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公開番号】特開2004-79525(P2004-79525A)
【公開日】平成16年3月11日(2004.3.11)
【年通号数】公開・登録公報2004-010
【出願番号】特願2003-282728(P2003-282728)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｊ　31/12　　(2006.01)
Ｈ０１Ｊ　29/87　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｊ　31/12　　Ｃ
Ｈ０１Ｊ　29/87

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月14日(2006.11.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の電子放出素子を備えた第１の基板と、前記第１の基板と対向配置され、該第１の基板とともに真空容器を構成し、前記電子放出素子から放出された電子が照射される第２の基板と、前記真空容器の耐大気圧構造として、前記第１の基板および前記第２の基板のうちのいずれか一方の基板上に設置された、その表面に第１の電極を有するスペーサと、を備え、前記第１の基板の前記電子放出素子が設けられた領域と前記第２の基板の電子が照射される領域との間に画像表示領域が形成されている画像表示装置において、
前記第１の電極は、前記一方の基板上の、画像表示領域の外に設けられた導電性の第１の支持部材と接合されて、該第１の支持部材と電気的に接続され、前記第１の支持部材は、前記一方の基板上の、前記画像表示領域の外に設けられた導電性の第２の支持部材と接合されて、該第２の支持部材と電気的に接続され、前記第２の支持部材は、前記一方の基板上に設けられた第２の電極と電気的に接続されていることを特徴とする画像表示装置。
【請求項２】
前記第１の支持部材と前記第２の支持部材とは、溶接接合されている、請求項１に記載の画像表示装置。
【請求項３】
前記第１の支持部材と前記第２の支持部材とは、第１の接合部材により接合されている、請求項１に記載の画像表示装置。
【請求項４】
前記第１の接合部材は、ろう材、導電性を有する接着剤、および低融点金属材料の群から選ばれるものである、請求項３に記載の画像表示装置。
【請求項５】
前記第１の電極と前記第１の支持部材とは、導電性を有する接合剤を介して電気的に接合されている、請求項１から４のいずれか１項に記載の画像表示装置。
【請求項６】
前記第１の電極と前記第１の支持部材とは、前記第１の支持部材に設けられた、バネ部材を有するコンタクト部が該第１の電極と接触することによって電気的に接合されている

、請求項１から４のいずれか１項に記載の画像表示装置。
【請求項７】
前記第２の電極と前記第２の支持部材とは、導電性を有する接合剤を介して電気的に接合されている、請求項１から６のいずれか１項に記載の画像表示装置。
【請求項８】
前記第２の電極と前記第２の支持部材とは、前記第２の支持部材に設けられた、バネ部材を有するコンタクト部が該第２の電極と接触することによって電気的に接合されている、請求項１から６のいずれか１項に記載の画像表示装置。
【請求項９】
前記第１の電極と前記第２の電極とは、前記第１の支持部材と前記第２の支持部材とを介して電気的に接合されている、請求項１から８のいずれか１項に記載の画像表示装置。
【請求項１０】
前記スペーサは板状のスペーサであって、該スペーサの長手方向における両端が前記第１の支持部材に支持されている、請求項１から９のいずれか１項に記載の画像表示装置。